

旧年は東日本大震災により、いまだ避難生活を続けておられる被災者がいらっしゃいます。新しい年は、復興施策の早期実現と平穏を祈らずにはいられません。さて、さくら友の会の御事始め、一月八日（日）の定例作業に参加して会員の皆々様と新年の挨拶を交わすたびに、すがすがしいでたき春を感じた次第です。実は、旧年一月九日の定例作業には風邪のため欠席せざるを得ませんでした。新年はお蔭様でそそこの体調をもつて参加することができました。健康であることは、ありがたきがなど、後期高齢者に達した今、体力自信過剰にならぬよう心がけねばと思っています。ちなみに、旧年一月九日の日記には、「背中を冷やさない。保温に心掛けること。」と記しておりました。さて、今回の定例作業

皆様にはつづがなく
迎春の御事と心から
お慶び申し上げます。



副理事長
上畠 政利

さくら新聞

発行者：N P O 法人
下関深坂さくら友の会
下関市安岡町1-8-3
TEL:083-258-0143
FAX:083-258-5910
<http://yasuokak.sakura.ne.jp/sakura>
Eメール: misaka.sakura@arrow.ocn.ne.jp

ころにある枝を切るのは、我
が、さくら友の会が保有する
現在の文明の利器をもつてし
ても簡単なものではない。高いと
枝切り鋸（鋸）の届かない枝
は、手の施しようがありませ
ん。ただ、見上げるばかり、
あごの疲れの出ない前に諦め
ることになります。足場のよ
くない斜面は、五体を安定さ
せ、そのまま保持しなければ
ならない。短時間ですが難儀
な技です。樹に登るのは、得手
手、不得手があり、Cさんは
不得手、得手のMさんは、軽
やかな身ごなしで登つて切除
されたのはご立派、しかし、
ごく一部。危険な作業であり
ます。テングス病にかかるて
いることが明らかな場合は別
として、疑わしい枝を多々見
受けます。樹木医不在の現場
ではAさんが、高枝鋸で切除
しようと/or>する、Bさんは、そ

れは違う（テングス病にかかるつてない。）と言う。見立てが一致しないために切れない場面もありました。Cさんいわく、医者でも見立てが違うことがあるのだから、と。各所で切除した枝を一箇所に集め一抱えほどに束ね積み上げた量は、トラック一台に積載するほどの多大な量であります。しかし、テングス病に

シノ、戦後の復興の象徴となつたソメイヨシノ、間隔を狭めて植えられたソメイヨシノ、テングス病にかかりやすいソメイヨシノ、地球温暖化で危険にさらされているソメイヨシノ、等々、「寿命が六七十八年」と言われる一方で名前の中の弘前公園（青森県弘前市）などには樹齢百二十年以上の樹木が存在していること

かかっている既存の桜を含めますと今回切除したのはほんの一割にも満たないものと思われます。切除した樹の切り口の養生と、残っているテングス病の枝を如何にして除去するか等の問題が山積しています。



はご承知のことと存じます。〔寿命六十九八年〕説は科学的に根拠のなき俗説だから良好な環境と人が適度な手入れを継続すれば、いつまでも生育するといわれております。危機の脱出は私たちの行動にかかっています。会員の

皆々様そのつもりで桜を育てましょう。

認定NPO法人 認定NPO法人と言ふと、言葉を耳にするようになつた。NPO法人を整理したいたらしい。適正な資格を有するNPO法人を認定すると言うものだ。会計基準があり、一定の方式で会計処理をして、それを、デジタルデータで報告して、お役所が、インターネットで、公表するとのこと。寄付をする場合に、NPOの活動が分りやすい。また、納税額の税する場合に、納税額の一部の使途を認定NPO法人に指定することができるそうだ。

西川浩子理事は、故城戸哲郎理事から「読んでいて」と言つて手引書を渡されたが、読んでいる暇がない。城戸さんはそのまま逝つてしまつた。どうしたものが頭をずっと抱えている。その会計の講習会に西川浩子理事と野口周三理事が参加してきた。会計処理そのものはそう難しいとは思わなかつたが、この会計処理をする他に、補助金の支給団体が指定する別様式の会計処理が従来のままだと、手間が増えるだけ。

桜四方山 一杯。せいぜい浮
かんで桜餅。桜チップで
燻製などと頭に浮かべば
上等な方。桜染めは草木
染の一種で桜の木の枝を
細かくして煮る。何日も
煮たり冷ましたりするよ
うだ。桜の枝も、先が少
しピンクに染まりかけた
舊をつけた枝がよいとは
人間国宝の志村ふくみ先
生の秘術らしい。どうし
ても桜から桜色に染めた
いと言う執念がなければ、
到底たどり着けない
研究だ。染め上がった絹
糸で織った布は素晴らしい
ものらしい。宮城大学
ではソメイヨシノの枝や
葉で染色実験している。
現在そういう実験研究が
行われていると言うことは、
まだいろいろ可能な
能性があると言うことかも
知れない。今年の桜研
修旅行は平泉、角館など
の東北地方だ。角館には
有名な樺細工(桜皮細工)
がある。茶筒や小箱など、
桜の皮がどうしてあれほど
見事な光沢を帯びるの
か、行った人は技術を盗
んできてほしい。桜の材
は、家具や、お盆、額縁
などに適していると聞
く。そんな研究もしてみ
たい。